

2023年7月19日

各 位

会社名 21LADY株式会社
代表者名 代表取締役社長 遠山秀徳
(コード番号:3346 名証ネクスト)
問合せ先 経営管理室室長 田中英信

資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、2021年12月28日開催の取締役会において、2022年1月14日付「第三者割当による新株の発行」にて開示いたしました資金の具体的な使途及び支出予定時期について、下記のとおり変更する旨を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、2022年1月14日付「第三者割当による新株式の発行並びに主要株主、主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」にて開示のとおり、資金調達を実施いたしました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により業績が低迷するなか、業績回復のため必要な運転資金として当社グループの人件費、賃貸料等諸経費、高騰する材料費等に273百万円を充当し、業績基盤の安定化を2023年6月まで図ってまいりました。また、当社グループの生産工場に対する設備投資として70百万円、子会社の借入金返済に50百万円を2023年3月までに充当いたしました。

一方で、本日までにおいてM&A、資本提携等でグループ全体の事業拡大、企業価値を高めるためシナジー効果が発揮できる企業との契約の可能性のための必要資金を確保してまいりました。しかしながら、現状ではグループの要である株式会社洋菓子のヒロタが創業100周年を迎えることから、ブランドの再構築を軸に新規店舗の開発、グループ3社の共同の商品開発及び販売に向けた人材及び運営に対する資金投入が最も業績回復に効果があると判断し、資金使途を変更することといたしました。

今般、当初M&A資金のための資金を既存事業会社の業績回復のために充当することとしましたが、今後もM&Aを含めた成長戦略に必要な資金については様々な手段を検討してまいります。

2. 変更の内容

資金使途に変更内容は次のとおりであります。(変更箇所は下線で示しております。)

【変更前の内容】

具体的な使途	想定金額 (百万円)	支出予定時期
① 運転資金	273	2022年1月～2023年6月
② 子会社設備資金	70	2022年1月～2023年3月
③ 借入金返済資金	50	2022年1月～2023年3月
④ M&A資金	200	2022年1月～2024年12月
合計	593	—

【変更後の内容】

具体的な使途	想定金額 (百万円)	支出予定時期
① 運転資金	273	2022年1月～2023年6月
② 子会社設備資金	70	2022年1月～2023年3月
③ 借入金返済資金	50	2022年1月～2023年3月
④ <u>設備投資及び運転資金</u>	<u>200</u>	2022年1月～2024年12月
合計	593	—

3. 今後の見通し

当社の連結業績に与える影響は軽微であります。今後、適時開示の必要性が生じた場合には、速やかに開示します。